

# 平成19年7月6日～9日梅雨前線豪雨災害における 熊本県川辺川上流域緊急調査の概況（速報）

平成19年7月13日  
（独）土木研究所  
土砂管理研究グループ  
火山・土石流チーム

熊本県からの要請により、国土交通省が派遣した、標記豪雨災害の災害緊急調査団のメンバーとして、（独）土木研究所土砂管理グループ火山・土石流チームは、川辺川上流域の土砂災害状況の調査のため、専門家の派遣をいたしました。

## 1. 派遣日

平成19年7月12日（木）

## 2. メンバー

火山・土石流チーム 上席研究員 田村圭司

## 3. 現地調査写真

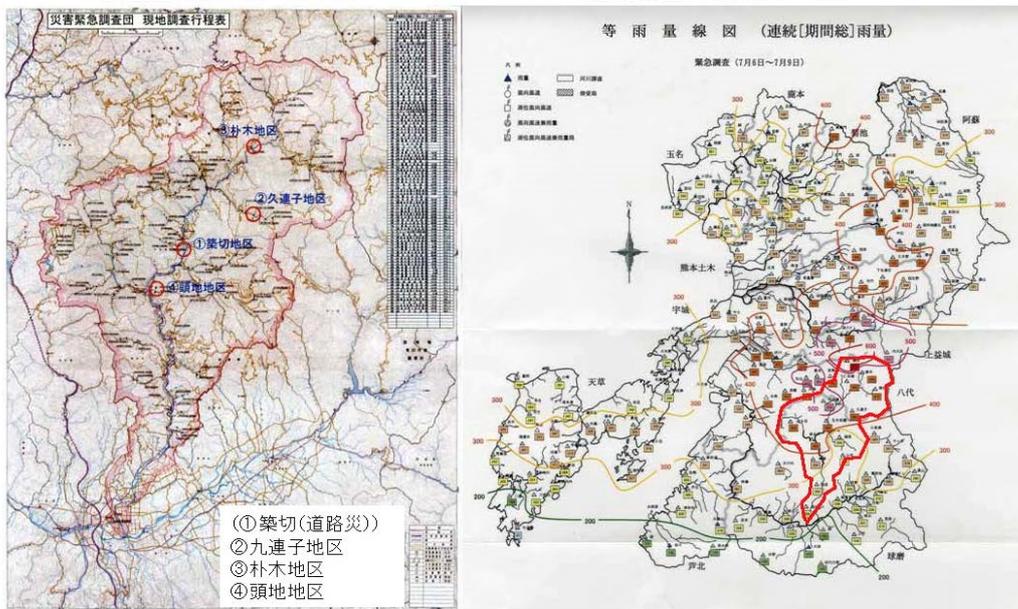
撮影月日 7月12日

撮影者 火山・土石流チーム 田村圭司

調査方法 地上からの目視（12日PM）

調査箇所(H19. 7. 12)

連続雨量 7月6日～9日



調査箇所

## ○ 概要

- ・ 川辺川上流域においては、人命、財産に係わる土砂の崩壊は、地上から見る限り見受けられない。小規模な崩壊、小規模な砂防施設の破損が一部に見られた。
- ・ 新しい崩壊、平成17年の崩壊箇所の拡大については、地上からは確認できなかった。状況に応じて、上空からの二次調査を検討することも考えられる。
- ・ 川辺川本川において、河川護岸の一部決壊がある。応急対応中。



写真—1 久連子（くれこ）第3砂防堰堤上流 オコバ谷  
H17の土砂流出の跡は見られるが今回の降雨での土砂流出は見られない。



写真—2 久連子（くれこ）第4砂防堰堤下流（200m）



写真—3 久連子（くれこ）第4砂防堰堤下流（200m）

写真—2、3 左岸に崩壊跡（H17の崩壊と思われる）一部は小規模に拡大



写真—4 久連子（くれこ）第4砂防堰堤上流右岸  
市道に数箇所の小規模土砂流出



写真—5 久連子（くれこ）第4砂防堰堤上流右岸  
市道に数箇所の小規模土砂流出

ガードレールの破損は今回の土砂流出前から（聞き取り）。土砂は今回の降雨による。



写真—6 朴木（ほおのき）砂防堰堤（1）  
天端からの越流はしていない。空き容量約60万 $m^3$ （聞き取り）分が一時的に貯水されていると思われる。



写真—7 朴木（ほおのき）砂防堰堤（2）  
水抜き穴に木片が吸い込まれていく様子がわかる



写真—8 朴木（ほおのき）砂防堰堤上流右岸  
盛り土部分の表層が崩壊。山際の道路は影響なし（重機のあるところ）。



写真—9 朴木（ほおのき）砂防堰堤右岸 盛り土部分からの堰堤堆砂敷きへの  
土砂流出  
小規模の崩壊も見られる



写真—10 朴木（ほうのき）砂防堰堤下流右岸 H17 崩壊復旧箇所



写真—11 頭地地区 田口砂防堰堤（1）  
今回の降雨での土砂流出はほとんど見られない



写真—12 頭地地区 田口砂防堰堤（2）  
上流新規砂防堰堤予定サイト



写真—13 頭地地区 田口砂防堰堤から下流保全対象を望む



写真—14 築切（ちっきり）地区 河川施設災害等



写真—15 築切（ちっきり）地区 河川施設災害等



写真—16 築切（ちっきり）地区 河川施設災害等